

関係団体との意見交換会結果の概要について

◎ 趣旨

「(仮称) 第5次宇都宮市障がい者福祉プラン」・「(仮称) 第5期宇都宮市障がい福祉サービス計画」・「(仮称) 第1期障がい児福祉計画」の策定にあたり、新たな施策事業等を検討する基礎資料とするため、障がい者団体との意見交換会を実施したことから、その結果について報告するもの

1 概要

(1) 意見交換実施団体

	団体名	団体の構成員など
A	(社福) 宇都宮市障がい者福祉会連合会	肢体不自由・視覚・聴覚・音声機能等に障がいのある者、肢体不自由児・者の父母など
B	宇都宮市精神保健福祉会	精神障がいのある人の家族など
C	NPO 法人宇都宮市知的障がい者育成会	知的障がいのある人の家族 地域活動支援センターの運営事業者など
D	宇都宮市自閉症児・親の会	自閉症、発達障がいなどのある者、父母など
E	栃木県難病団体連絡協議会	難病患者など
F	栃木県障害施設・事業協会	障がい福祉サービス提供事業者など
G	NPO 法人障害者福祉推進ネットちえのわ	肢体不自由、知的障がい、発達障がいなどのある子の親、学識経験者、医者など

(2) 実施期間

平成29年5月12日(金)～6月29日(木)

(3) 主な意見(※どの団体からの意見かを上記表のA～Fで記載)

① 就労について

- ・ 本人の信頼できるジョブコーチや専任の上司をつけてほしい。長いスパンでケアできる体制をつくってほしい。(A, B, C)
- ・ 企業や職場の同僚の障がい者へ対する理解が重要である。(A, B, C, E, F)
- ・ 法定雇用率の算定に難病患者も入れてほしい(E)
- ・ ハードルを高くして一般企業にいてもダメになってしまう場合もあるので、2, 3年かけて福祉的就労を経験してから就職するのも良い。(F)

② 相談について

- ・ どの窓口で相談したら良いかわからない。ワンストップで意見をきけると良い。(A, B, E)
- ・ よろず相談ができるような窓口があった方が良い。(A, D, G)
- ・ 今の相談支援体制の問題は、ライフステージに合わせた支援を受ける計画ではなく、サービスを利用するためだけの計画作成になっている。どうして計画相談が必要かわかっていない。事業所によっても温度差がある。(A, C, D)
- ・ 相談員の質の向上が重要である。(A, C)
- ・ 24時間365日対応できるところがあると良い。ピアサポーターをバックアップしてほしい。(B)

- ・ 相談支援を充実させてもつなぐ先がなければどうしようもないため、サービスの充実が一番重要である。(F)

### ③ 障がい福祉サービス等について

- ・ 移動支援について、学校や施設の送り迎えでも利用したい。国のルールで駄目と言われればそれまでだが、地域の裁量で考えてほしい。また、常識的な範囲で利用時間を確保してほしい。(A, C, D, E, G)
- ・ 移動支援について、1体1の支援だけではなくグループでの支援も良いのではないか。(C)
- ・ 移動支援について、人馴れするためにも、色々な人に支援を受けながらスムーズに自立できるように利用できれば良い。(D)
- ・ 移動支援について、入所者の土日の外出に活用したい。(F)
- ・ 短期入所について、土日は利用者が多いため利用を断られることが多々ある。切実な願いとして短期入所を増やしてほしい。稼働率だけを見ないでほしい。(A, C, D, F, G)
- ・ 同行援護について、相当前に予定を組まないと利用できない。2週間前でも断られてしまう。せめて1週間前に対応してもらえると良い。(E)
- ・ 行動援護は、軽度であれば訓練になるため、軽度ほど必要ではないか。自立に向かって使えるサービスがあれば良い。(G)
- ・ 重度訪問介護の活用をもっとしてほしい。日中一時支援(放課後支援型)の整理が必要である。(F)

### ④ 今後の生活について

- ・ グループホームを増やしてほしい。(A, B, C, D, G)
- ・ 同一敷地内への建設など、グループホームの規制緩和が必要である。(C, G)
- ・ 空き家を活用してグループホームを作してほしい。(B)
- ・ 様々な生活形態を確保するためには、安価な住居の提供、例えば、まかない付きの寮やアパート型のグループホームがあると良い。(C)
- ・ 親子で入れるグループホームがあると良い。(F)
- ・ 体験型のグループホームが大切である。(F)
- ・ グループホームの家賃補助を入れていただきたい。(F)
- ・ 慣れるためには、訓練や体験をしてもらうことが重要であり、他の場所に泊まるのが当たり前にならないといけない。(C, D)
- ・ 50万都市の宇都宮で地域生活支援拠点をどうするか考えていく必要がある。(F)
- ・ 成年後見制度について、凄くお金がかかるや成年後見人の使いこみのニュースなど、悪い印象があるため、制度の良さを知ってもらえれば普及するのではないか。(A, C)
- ・ 成年後見制度について、受け皿ないという問題があるため、自治体の支援が必要である。具体的な支援策の検討を進めてほしい。(C)
- ・ 厚労省から我が事・丸ごとという大きな方向性が出されているが、地域住民が主体という地域へ丸投げしているように感じる。子ども、高齢者、障がい者をまとめてということは無理だろうと言う人もいる。プランの中で具体的に示してほしい。(E)

### ⑤ 障がい者差別について

- ・ 大人になると差別や偏見を取り除くのは難しいため、義務教育の中に入れてほしい。学校の子供の理解の環境づくりをプランに入れてほしい。(B, D, F)
- ・ 段差の解消など形があるものだけが配慮だと勘違いされている部分もあるのではないか。目に見えない部分、職場における通院への配慮も合理的配慮だということを浸透させてほしい。(E)

- ・ 合理的配慮の取り違えで、順番を待てない人に先にどうぞというのはどうなのか。順番を待たせることも訓練であって、積み重なって待つことができるようになる。(D)
- ・ 新しい建物は設備が整っているが、古い建物はバリアフリー化されていない。(A)
- ・ トップは理解しているが、バスなどの運転手個人となると嫌がる運転手もいるため、理解促進が必要である。(A, C)
- ・ 建物のバリアフリーよりも心のバリアフリーが大切である。(A)
- ・ ヘルプカードを持っていることが当たり前になるように周知してほしい。(E)
- ・ 障がい者であっても一人の市民として参加できるイベントを連携してやってほしい。

#### ⑥ 障がい者のスポーツ大会について

- ・ スポーツ大会に観戦に来た人が宇都宮の街中を楽しく歩けるようにしてほしい。(A, E)
- ・ スポーツする機会が増えれば良い。参加できるイベントの周知をしてもらえると良い。平成34年にスポーツ大会があるということも周りの人は知らないので周知してもらえると良い。(B)
- ・ 障がい者の選手本人、観戦にくる方のためにも、手話奉仕員を含めて手話通訳者を増やす必要がある。(A)
- ・ サン・アビリティーズが宇都宮のスポーツの拠点になっている。手軽にスポーツを楽しむため、冷暖房を設置してほしい。清原の体育館も障がい者用トイレが少ない。多目的トイレを作れば良い。(A)
- ・ ふれあいスポーツ大会について、広いグラウンドで走り回れるような広々とした使い方をしてほしい。(C)
- ・ 選手の育成や練習する場所の確保が課題となっている。また、地域にあるスポーツクラブに参加してやるのが重要ではないか。(F)

#### ⑦ 障がい児への支援について

- ・ 乳幼児期については、母親が凄く不安になる時期であり、母親に対する支援が必要である。(D, G)
- ・ 乳幼児健診を受けなかった人に手を差し伸べる必要があるのではないか。(D, G)
- ・ 早期の療養が大切で、しつけに関する支援があると良い。親自体が発達の段階を理解できる学習会があると良い。(D, G)
- ・ 母親同士が気軽におしゃべりができるゆるい場所があると良い。(D, G)
- ・ 親が相談に行かないと子どもも見てもらえないため、1対1ではなく、アドバイスがもらえるような気軽集まれる場所があると良い。(D, G)
- ・ 色々な学校同士で交流を持てれば良い。(G)
- ・ 医療的ケアの必要な子どもは、かかりつけ医が増えることが大切である。また、退院支援について、重症児に強い相談員をどう育成していくかが重要である。(G)
- ・ 現在、18歳問題が出てきており、4年から5年のうちに仕組みを整えないと日中活動できる場所がない。人工呼吸器レベルの子どもをどうするか仕組みが必要であり、親が元気うちに最後を見据えた仕組みをつくらないと親は安心できない。(G)
- ・ 人工内耳については、0歳から医者の一時的な押し付けでつけている病院もある。ろう学校もあるという選択ができれば良い。(A)

#### ⑧ その他

- ・ リハビリテーションを充実してほしい。また、訓練する人の養成をしてほしい。(A)
- ・ 視覚障がい者や聴覚障がい者を受け入れ可能な施設がないのが不安である。(A)

- 全ての施設に文字情報が流れるディスプレイを設置してほしい。(A)
- 他市では24時間365日の医療相談があり、夜中眠れないときに相談できる場所があって安心できる。(B)
- タクシー券について、親が高齢化しているため、療育手帳のB1も対象にしてほしい。(C)
- タクシー券について、本人が一緒でないと利用できない。親が付き添ってタクシーで送っても帰りに券が使えない。また、市外で利用ができない。(G)
- 放課後デイサービスが増えているが、同じように成人の余暇活動を行う場所があると良い。(C)
- 障がいと介護の制度が一緒になるという動きが出ているが、統合されて今まで利用できたサービスが利用できなくなるなど、マイナス面が心配である。(C)